

守山市立埋蔵文化財センター 平成27年度春季特別展

# 飛鳥・奈良・平安時代のくらし



2015  
4/25(土) ~ 5/6(水・祝)

弥生から古墳時代の守山は、豊かで先進的な地域であったことを遺跡が物語っています。そして、その後の古代においても、生産性の高さや要衝の地であることから、なお発展の一途を辿ったことが発掘調査でもわかっています。今回の春季特別展では、古代の守山の様子を、発掘調査成果を通して探っていきます。

## ＝主な展示品＝

服部遺跡/銅印「乙貞」、銅銭（和同開珎他）、墨書土器、土器  
赤野井遺跡/墨書土器、へう描き土器  
益須寺遺跡/瓦、へう描き土器のほか約15遺跡からの出土品約120点  
人面墨書土器（幸津川町下新川神社所蔵）

\*特別展開催にともなう展示準備等のため、平成27年4月10日（金）から4月24日（金）まで、平成27年5月7日（木）から5月18（月）までの期間を休館とします。



## ＝アクセス＝

公共交通機関利用の場合は、JR 守山駅より近江バス服部線「市立埋蔵文化財センター」行き。または「野洲川歴史公園サッカー場」行き乗車、市立埋蔵文化財センターで下車。自家用車での来館の場合は、名神高速道路栗東 IC から 25 分、琵琶湖大橋東詰めから 15 分。

## 守山市立埋蔵文化財センター

〒524-0212 守山市服部町2250番地

【開館時間】 9:00～16:00 開催期間中無休

守山市立埋蔵文化財センター春季特別展講演会

## 「近江国は宇宙に名の有る地なり

～藤原武智麻呂が見た古代近江と守山～」開催のお知らせ

ふじわらかまたり 藤原鎌足の孫、ふじわらのふひと 藤原不比等の長男であるふじわらのむちまろ 藤原武智麻呂は、飛鳥から奈良時代に活躍した貴族・政治家です。和銅5(712)年には、国司として、近江に赴任しています。

藤原氏の歴史をしるした『とうしかでん藤氏家伝』に収められた「むちまろでん武智麻呂伝」には、ちかつおうみのくに「近江国は宇宙に名の有る地なり」のくだりで始まる一節が記されており、赴任先である近江、つまり滋賀県の気候・風土、そこに暮らす人々など、余すところなく賞賛しています。

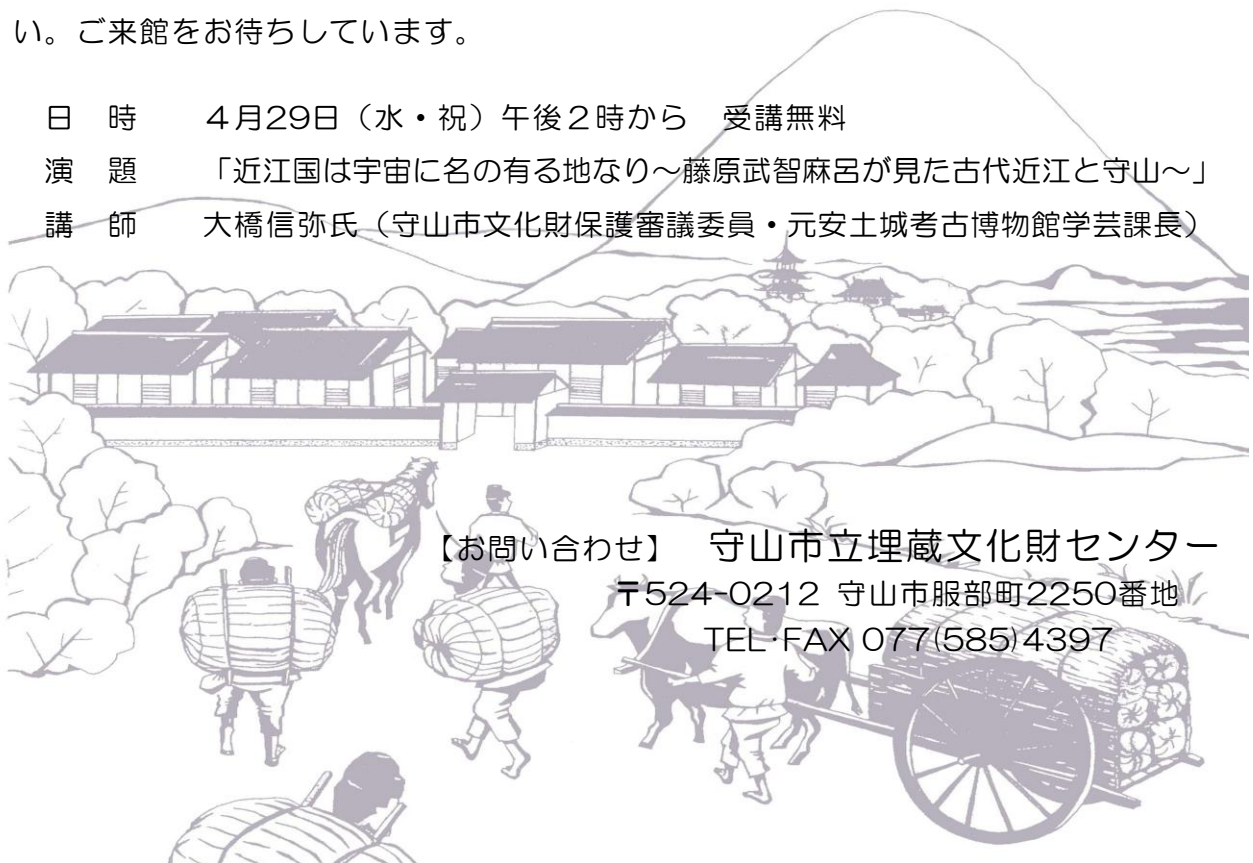
今回の講演会は、近江の古代史研究の第一人者として活躍されている大橋信弥さんを講師に迎え、藤原武智麻呂の目に映った古代の近江、そして守山をテーマにご講演いただきます。

ゴールデンウィークのひとつときを、埋蔵文化財センターの講演会でお過ごしください。ご来館をお待ちしています。

日 時 4月29日(水・祝)午後2時から 受講無料

演 題 「近江国は宇宙に名の有る地なり～藤原武智麻呂が見た古代近江と守山～」

講 師 大橋信弥氏(守山市文化財保護審議委員・元安土城考古博物館学芸課長)



【お問い合わせ】 守山市立埋蔵文化財センター  
〒524-0212 守山市服部町2250番地  
TEL・FAX 077(585)4397